MITSUBISHI

形名

PS-RP·GA7

三菱電機パッケージエアコン

室内ユニット 冷媒R410A対応

取扱説明書

●お使いになる前に

●運転のしかた

●お手入れのしかた・困ったときに

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。

●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。

●保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。

●お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。

●お客さまご自身では据付・移設をしないでください(安全や機能の確保ができません)。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁　止	アース線接続
指示を守る	水ぬれ禁止
ぬれ手禁止	

⚠警　告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁　止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。

電源を切る

エアコン及びリモコンを水洗いしない

ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電・発火の原因になります。

水漏れ禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を!
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁　止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。
お買上げの販売店にご相談ください。

換　気

⚠注　意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。または健康を損う原因にもなります。

禁　止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。

設置禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。

禁　止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。
品質低下の原因になります。

使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

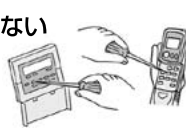
換　気

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁　止

リモコンを先がとがった物で押さない

故障の原因になります。

禁　止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

保護具着用

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。

使用禁止

⚠ 注 意

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁 止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

禁 止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

電源を切る

エアコンの下方に食品や食器を置かない

ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。

禁 止

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品及び薬品から発生したガスを充分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。

換気
・送風運転

据付時　次の項目をご確認ください。

⚠ 警 告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください

据付け

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

設置場所

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。

漏電遮断機

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

専用回路

元電源の取付位置を確認する

元電源

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない

据付禁止

据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

禁 止

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。
お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

別売部品

⚠ 注 意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・洩れの恐れのある場所へは据付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

設置禁止

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

排 水

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。
また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。
その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください

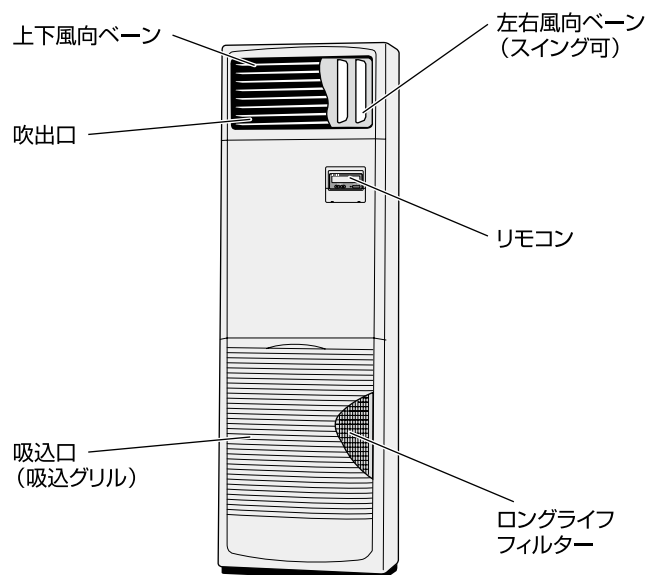
- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輌・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

各部のなまえ

室内ユニット

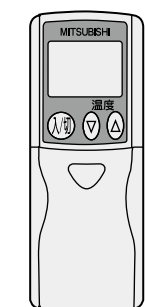
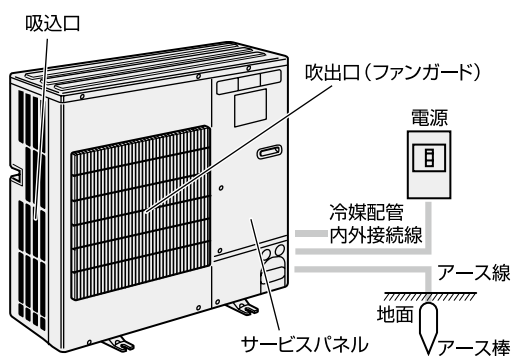
		PS-RP･GA7形
風速		2速
上下風向調節		手動
左右風向調節		自動（スイング可）
ロングライフフィルター		○
フィルタークリーニングサイン積算時間		2500時間
ワイヤレスリモコン機種設定機種No.※1	冷暖切換タイプ	023
	冷房専用タイプ	055

※1 ワイヤレスリモコンをご使用する場合には、ワイヤレスリモコン側へ上表「機種No.」の設定を行ってください。
・室外ユニットタイプ（冷暖切換タイプ／冷房専用タイプ）により設定する「機種No.」が異なります。
・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

リモコン

ワイヤレスリモコン
（別売部品）

ワイヤードリモコン
（室内ユニットに内蔵）

MAスマートリモコン
（別売部品）

※操作方法はMAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。
※MAスマートリモコンを増設する場合は、室内ユニットに組込まれているリモコンを従設定に切換えてください。

室外ユニット

ワイヤードリモコン（室内ユニットに内蔵）

表示部

■操作部、表示部はMAスムースリモコンを記載しています。（説明のためすべての表示内容を示しています。）

集中管理中 表示

集中コントローラ等で操作禁止されている場合に表示します。
制限される操作は以下の通りです。
（個々に制限される場合もあります。）
- 運転／停止・運転モード・設定温度

※氷蓄熱機種では、夜間蓄冷熱運転をしている場合にも表示します。

操作内容表示

- 選択された運転モード、操作内容を表示します。（多言語対応）
- 室内ユニットにない機能のボタンを押したときに、該当する機能表示と同時に、“無効ボタン”を3秒間点灯表示します。

タイマー実行時間 表示

- 簡易タイマー、消し忘れ防止タイマー運転時は、タイマー実行時間を表示します。

操作制限 表示

操作制限している場合、点灯表示します。

フィルター清掃 表示

フィルターの清掃時間がくると表示します。（20ページ参照）

タイマー停止中 表示

タイマーの運転状態を表示します。

タイマー機能 表示

タイマーが設定されている場合、その機能を表示します。

設定温度 表示

選択された設定温度を表示します。

◉ 表示

通電時、表示されます。

上下風向 表示

吹出しの風向を ＼ 印で表示します。

1時間のみ 表示

冷房およびドライ運転で弱風下向きにセットしたとき表示します。（機種により異なります）1時間経過しますと表示は消え、風向も切換わります。

室温 表示

運転中の吸込み温度を表示します。
表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は、8℃または39℃で点滅します。

ルーバー 表示

スイングルーバーの作動を表示します。停止の場合は表示しません。

風速 表示

選択された風速を表示します。

換気 表示

換気運転時表示します。

操作部

■ “PLEASE WAIT”表示（初期設定中）

電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。

■ “無効ボタン”表示

室内ユニットに機能がないボタンを操作した場合に表示されます。

１個のリモコンで２種類以上の室内ユニットを同時運転している場合は、１台でも機能を装備した室内ユニットがあれば表示されません。

各部のなまえ

ワイヤレスリモコン（別売部品）

送信部

表示部
- ●説明のためすべての表示内容を示しています。
- ●リセットボタンを押したときは全表示します。

送信表示
タイマー表示

MITSUBISHI
冷房
ドライ
自動
送風
燃焼
暖房
点検
試運転
風速
機種設定
風向
スイング
この機能はありません
AMPM
に切
AMPM
に入
温度
入/切

運転/停止ボタン
設定温度ボタン
▼ 下げる ▲ 上げる
運転切換ボタン
（運転モード切換）
点検ボタン
ルーバーボタン
（左右風向切換）
試運転ボタン

操作部
風速ボタン
（風速切換）
切タイマーボタン
入タイマーボタン
風向ボタン
（上下風向切換）
時ボタン
分ボタン
時計ボタン
（時刻合わせ）
リセットボタン

風速
切タイマー
運転切換
風向
入タイマー
点検
ルーバー
時
試運転
分
設定 リセット 時計
電池 ↓

フタを下ろした状態

■リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。

■電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。

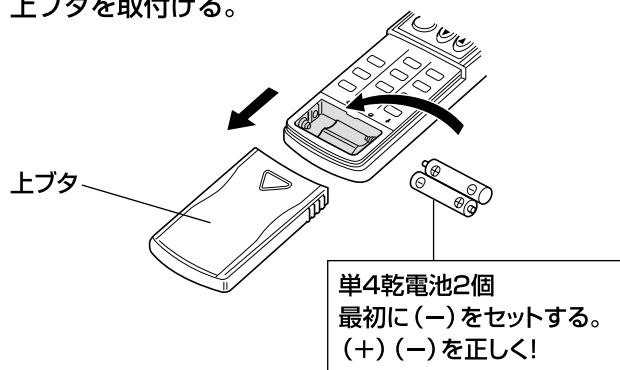
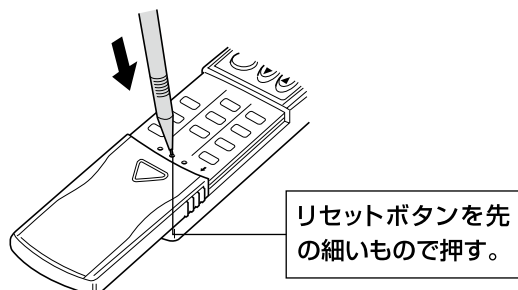
■リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

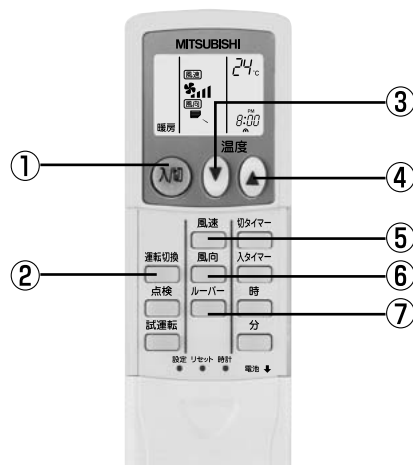
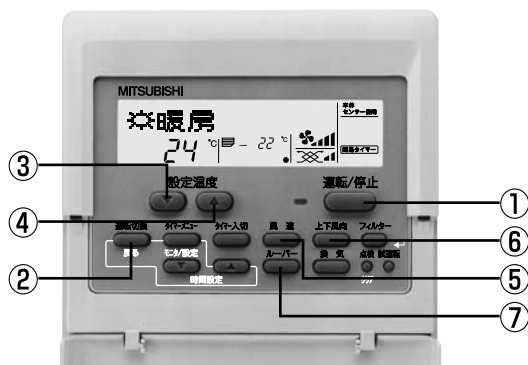
■受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。
お買上げの販売店へご連絡ください。

■リモコンの取扱いは大切に！　落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。

■紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる／交換の方法

1 上ブタを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ブタを取付ける。

2 リセットボタンを押す。

● 運転のしかた　運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転モード表示
冷房　ドライ　送風　自動
冷房　暖房　暖房　換気
［自動（冷房）モード］［自動（暖房）モード］

運転状態表示
暖房準備中　交互に表示
暖房↔準備中
霜取中　交互に表示
暖房↔霜取中

運転の開始、運転モードを選ぶとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。　運転／停止
運転ランプと表示が点灯します。

2 ボタン②を押す。　運転切換
●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ ドライ ➡ 送風 ➡ 自動※1 ➡ 暖房※1 ➡ 換気※2

※1　冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。リモコンの機能選択（13ページ参照）で自動モード使用無し設定の場合、自動の表示はされません。
※2　換気装置が連動されていない場合は、表示されません。
●換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

ワイヤレスリモコンの場合

表示が点灯します。
運転切換

冷房 ➡ ドライ ➡ 自動※1 ➡ 送風 ➡ 暖房※1

（換気単独運転にすることはできません）
※1　冷房専用機種は、自動と暖房設定はできません。

設定温度を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

室温を下げたいとき　▽　ボタン③を押す。
室温を上げたいとき　△　ボタン④を押す。

ワイヤレスリモコンの場合

▼　ボタン③を押す。
▲　ボタン④を押す。

● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
● 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19〜30℃	17〜28℃	19〜28℃	設定できません

※1　リモコンの機能選択（13ページ参照）で温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合、“温度制限” が点滅表示され、制限中であることが表示されます。

風速を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

ボタン⑤を押す。　風　速

ワイヤレスリモコンの場合

風　速

●1回押すごとに設定が切換わります。

	風　速	ワイヤードリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
PS-RP･GA7形	2段階	(弱) ↔ (強)	(弱) ↔ (強)

※ ( ) 内の文字は表示されません。

お　知　ら　せ

■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
● “暖房準備中”・“霜取中” 表示のとき
●暖房運転直後（モード切換待機中）
●暖房モードで設定温度より室温が高いとき
●ドライモードのとき

● 運転のしかた 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

【手動】上下風向を変えたいとき ※ 上下風向 風向 ボタン⑥は使用できません。

上下風向ベーンの両端に手をかけて操作します。通常、冷房・ドライ運転の場合には、正面吹出し、または上吹出しにし、暖房運転の場合は下吹出しにしてください。
※上下風向調節時、最上部・最下部の上下風向ベーンは連動しません。

⚠ 注意	上下方向の風向調節は、据付時に調節したあとはなるべく操作しないでください。

⚠ 注意	転倒しないよう足場をしっかりして操作してください。

運転を停止するとき

ワイヤードリモコンの場合 / ワイヤレスリモコンの場合

1 ボタン①を押す。 ▶ 運転／停止 ▶ 入/切

⚠ 注意	運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

再運転時の動作内容

■ワイヤードリモコンで再運転した場合は、右表の内容で動作します。（ワイヤレスリモコンでの再運転は､リモコンの設定されている内容にしたがいます。）

ワイヤレスリモコンの電池を入れた時

■電池を入れた時や交換した時には、必ずリセットボタンを押してください。（6ページ参照）
その際のワイヤレスリモコンの初期状態は右表となります。

	ワイヤードリモコンで再運転した場合の動作内容	ワイヤレスリモコンの電池組込み時の初期状態
運転モード	前回の運転モード	送風モード
設定温度	前回の設定温度	ー
風速	前回の設定風速	強

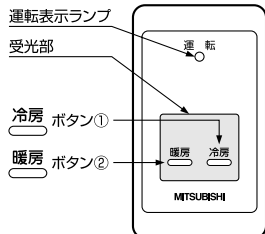
応急運転のしかた ワイヤレスリモコンが使えないとき

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、室内ユニットの受光部付近の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。

運転を開始したいとき。

- 冷房運転…… 冷房 ボタン①を押す。
- 暖房運転…… 暖房 ボタン②を押す。

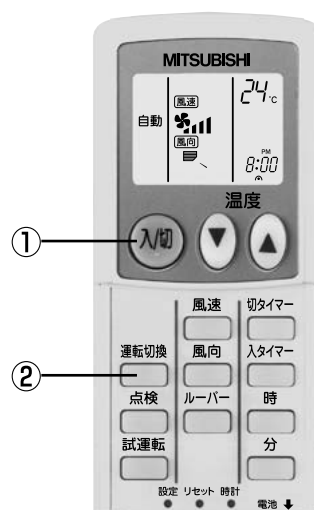
※運転表示ランプの点灯で運転開始をお知らせします。

※応急運転時の運転内容は下記になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強

運転を停止したいとき。

- 冷房 ボタン①または 暖房 ボタン②どちらかを押す。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

自動運転、換気運転のしかた

自動運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。

2 ボタン②を押す。

(運転/停止)
▼
(運転切換) 表示を ⇆自動 にする。

ワイヤレスリモコンの場合

▼
運転切換 表示を 自 動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(16ページ参照)

※運転モードが確定した後に、現在の運転モード[⇆冷房]、[⇆暖房]が表示されます。
尚、リモコンの機能選択(13ページ参照)で、「自動冷暖表示設定:無し」に設定変更されている場合には、"冷房"、"暖房" 表示はされません。([⇆自動]の表示のみ)

換気連動運転を行うとき

ワイヤレスリモコンの場合

- 換気装置が連動接続している場合はエアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。

換気運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき (運転/停止) ボタン①を押す。

●室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

●換気装置の単独運転を運転するとき

1 (運転/停止) ボタン①を押す。

▼

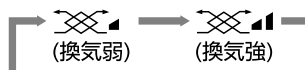
2 (運転切換) ボタン②を押し、運転モードの表示を 換気 にする。

●換気単独運転を開始します。

●換気操作の風速を変えたいとき

(換 気) ボタン③を押す。

●1回押すごとに右記のように切換わります。

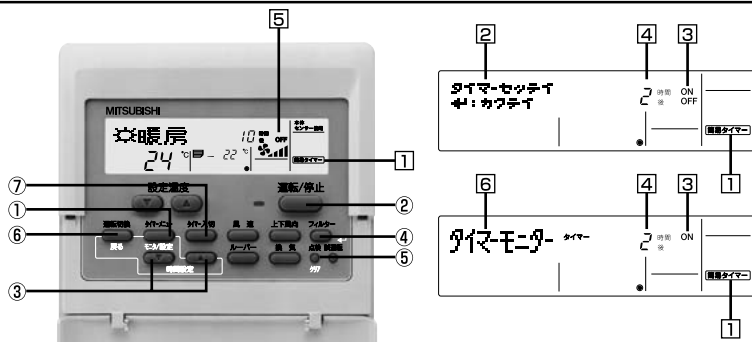
(換気弱) → (換気強)

お 知 ら せ

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

自動運転、換気運転のしかた

● 運転のしかた 簡易タイマー運転のしかた（ワイヤードリモコンの場合）

■簡易タイマー運転には次の3つの方法があります。
- ● 入タイマー運転　運転開始時間のみをタイマーで行う。
- ● 切タイマー運転　運転終了時間のみをタイマーで行う。
- ● 入⇄切タイマー運転　運転開始／終了時間をタイマーで行う。

■簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。
設定時間は、1時間単位です。
※1 簡易タイマー、消し忘れ防止タイマーの併用はできません。
※2 下記の場合、タイマー運転は実行されません。
タイマー停止中／異常中／試運転中／リモコン診断中／機能選択中／タイマー設定中／集中管理中（運転／停止操作禁止）

簡易タイマー設定のしかた

1 簡易タイマー が 1 に表示されていることを確認します。

2 タイマーメニュー ボタン①を押し、設定画面表示“ タイマーセッテイ ” 2 を表示させます。
ボタン①を押す毎に、“ タイマーモニター ”、“ タイマーセッテイ ”と表示が切換わります。

3 運転／停止 ボタン②を押し、運転開始時間、運転終了時間の設定表示とします。
ボタン②を押す毎に、3の表示が“時間後 ON”、“時間後 OFF”と切換わります。
●入タイマー（運転開始時間の設定表示）：“時間後 ON”
●切タイマー（運転終了時間の設定表示）：“時間後 OFF”

4 ▽ △ （時間設定）ボタン③を押して、入タイマーまたは切タイマーを時間設定（ 4 表示）し、フィルター（ ↵ ）ボタン④を押して時間を確定させます。
設定範囲時間は、1～72時間です。
※1.入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は、“ - - ”表示の状態としてください。
※2.設定した時間を取り消すときは、点検（クリア）ボタン⑤を押し、時間を“ - - ”と表示させた後、ボタン④を押し確定させてください。

5 入切タイマーを両方使用するときは、上記 **3** **4** で運転開始／運転終了時間の両方の設定を行ってください。
※入切タイマーを同時間に設定することはできません。

6 運転切換 ボタン⑥を押して、タイマー設定が完了します。

7 タイマー入切 ボタン⑦を押すと、簡易タイマー運転開始となり設定されたタイマー実行時間が 5 に表示されます。

簡易タイマー設定を確認するとき

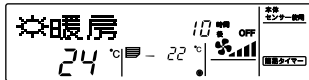
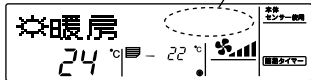
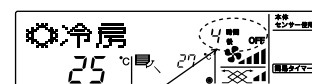
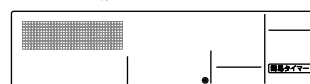
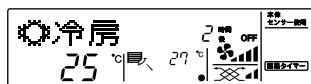
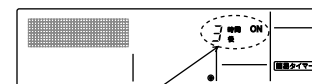
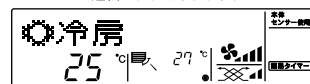
1 簡易タイマー が 1 に表示されていることを確認します。

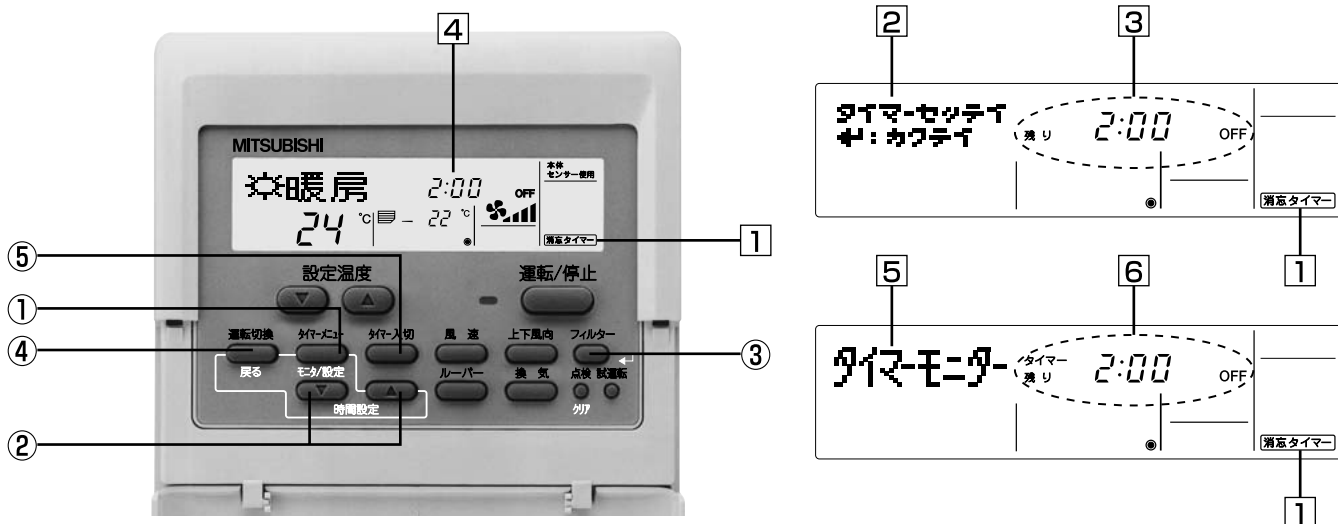
2 タイマーメニュー ボタン①を押し、モニター表示画面“ タイマーモニター ” 6 を表示させます。
3 4 に設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。　入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示します。

3 運転切換 ボタン⑥を押すと、タイマーモニター表示が終了します。

簡易タイマー運転を停止（解除）するとき

タイマー入切 ボタン⑦を押し、タイマー実行時間表示 5 を消灯させます。

簡易タイマー設定表示例

消し忘れ防止タイマー運転のしかた（ワイヤードリモコンの場合）

■消し忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過した時に自動的に空調機を停止させます。
■消し忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。設定時間は、30分単位です。
リモコンのタイマー機能設定は、簡易タイマーが標準設定（初期設定）となっています。消し忘れ防止タイマーをご使用になる場合は、リモコンの機能選択（13ページ参照）でタイマー機能設定を消し忘れ防止タイマーに変更を行ってください。
※1 消し忘れ防止タイマーを選択した場合、簡易タイマーは使用できません。（簡易タイマー、消し忘れ防止タイマーの併用はできません。）
※2 下記の場合、タイマー運転は実行されません。
タイマー停止中／異常中／試運転中／リモコン診断中／機能選択中／タイマー設定中／集中管理中（運転／停止操作禁止）

消し忘れ防止タイマーの設定のしかた

1 リモコンの機能選択（13ページ参照）で、タイマー機能設定を消し忘れ防止タイマーに設定をします。
消忘タイマー が1に表示されていることを確認します

2 (タイマーメニュー) ボタン①を3秒押し、設定画面表示"タイマーセッテイ"2 を表示させます。
ボタン①を押す毎に、"タイマーモニター"、"タイマーセッテイ"と表示が切換わります。

3 (▽)(△)（時間設定）ボタン②を押し、切タイマー（運転終了時間）3 を設定し、(フィルター)（↵）ボタン③を押して時間を確定させます。
設定範囲時間は、30分～4時間です。（30分単位）
※時間を確定させずに、下記4の操作を行ってしまった場合は設定した内容はキャンセルされます。

4 (運転切換) ボタン④を押して、タイマー設定が完了します。

5 運転を開始すると、消し忘れ防止タイマー運転が開始となり、設定された時間が 4 に表示されます。
運転開始後、残り運転時間は1分毎に更新され表示します。

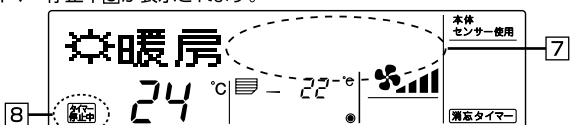
消し忘れ防止タイマー設定を確認するとき

1 消忘タイマー が 1 に表示されていることを確認します。

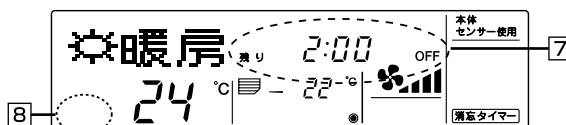
2 (タイマーメニュー) ボタン①を3秒押し、モニター画面表示"タイマーモニター" 5 を表示させます。
設定されている切タイマー時間が6に表示されます。

3 (運転切換) ボタン④を押すと、タイマーモニター表示が終了します。

消し忘れ防止タイマーを停止（解除）するとき

(タイマー入切) ボタン⑤を3秒押し、タイマー実行時間表示 7 を消灯させます。
消し忘れ防止タイマーを停止（解除）中に運転を行っている時は、タイマー停止中8が表示されます。

消し忘れ防止タイマーを再度開始させるとき

タイマー停止中に (タイマー入切) ボタン⑤を3秒押し、タイマー停止中 8 の表示を消灯、タイマー実行時間表示 7 を点灯させます。
タイマー実行時間は、前回の設定時間が表示されます。

● 運転のしかた 操作ロックのしかた（ワイヤードリモコンの場合）

■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。
　操作ロック機能には次の2つがあります。
　①運転／停止ボタン以外ロック（no1）：運転／停止ボタン以外の操作をロックします。
　②全ボタンロック（no2）　　　　　　：リモコンの全てのボタン操作をロックします。
　　操作ロックをご使用になる場合は、リモコンの選択機能（13ページ参照）で操作制限機能（操作ロック）の設定を行ってください。
　　リモコンの操作制限機能設定は、操作ロック設定なし（OFF）が標準設定（初期設定）となっています。

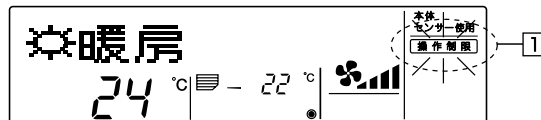
お知らせ

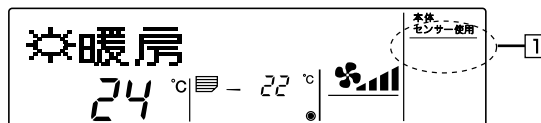
操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。

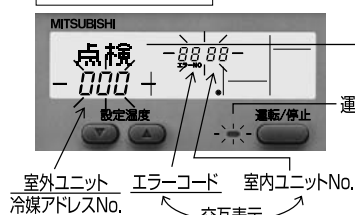
操作ロック設定のしかた

1 **リモコンの機能選択（13ページ参照）で、操作制限機能設定（操作ロック）をno1またはno2に設定します。**
no1:運転／停止ボタン以外の操作をロックします。
no2:リモコンの全てのボタン操作をロックします。

2 **（フィルター）ボタン①を押しながら、（運転／停止）ボタン②を2秒押します。**

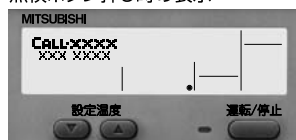
［操作制限］1 が点灯し、リモコンの機能選択で設定した操作ロック設定が有効となります。
リモコンの機能選択で“操作ロック設定なし”が選択されている場合は、“無効ボタン”が点灯表示します。
※操作ロック中に、ロックされているボタンを操作したときは、［操作制限］1 が点滅表示します。

操作ロック設定を解除するとき

1 **（フィルター）ボタン①を押しながら、（運転／停止）ボタン②を2秒押します。**
［操作制限］1 が消灯し、操作ロック設定が解除されます。

その他の表示・点滅について

エラーコードの点滅

リモコンの機能選択（13ページ参照）で、“異常時の連絡先”が設定されている場合は、連絡先の電話番号が表示されます。

点検ボタン押し時の表示

● 「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットNo.、エラーコードをご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

※リモコンの機能選択（13ページ参照）で、“異常時の連絡先”が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号が表示されます。

リモコンの機能選択のしかた

リモコンの機能選択モードでは下記リモコンの機能を設定変更できます。

以下からはMAスムースリモコン時の設定内容を記載しています。

大項目	中項目	小項目
1.言語切替（CHANGE LANGUAGE）	表示する言語の設定を行います。	・多言語表示ができます。
2.機能制限	(1)操作制限機能設定（操作ロック）	・操作制限（操作ロック）の範囲を設定します。
	(2)自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定します。
	(3)温度範囲制限設定	・温度調節範囲（上限・下限値）を設定します。
3.基本機能	(1)リモコン主／従設定	・主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2)タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(3)異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4.表示切替	(1)温度表示℃／°F設定	・表示する温度単位（℃／°F）を設定します。
	(2)吸込み温度表示設定	・室内（吸込み）温度表示の有無を設定します。
	(3)自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

リモコンの機能選択の流れ

[1]空調機を停止状態にして、リモコンの機能選択モードに移行する ➡ [2]大項目を選択する ➡ [3]中項目を選択する ➡ [4]小項目（内容を設定する） ➡ [5]設定完了 ➡ [6]通常画面に移行する（終了）

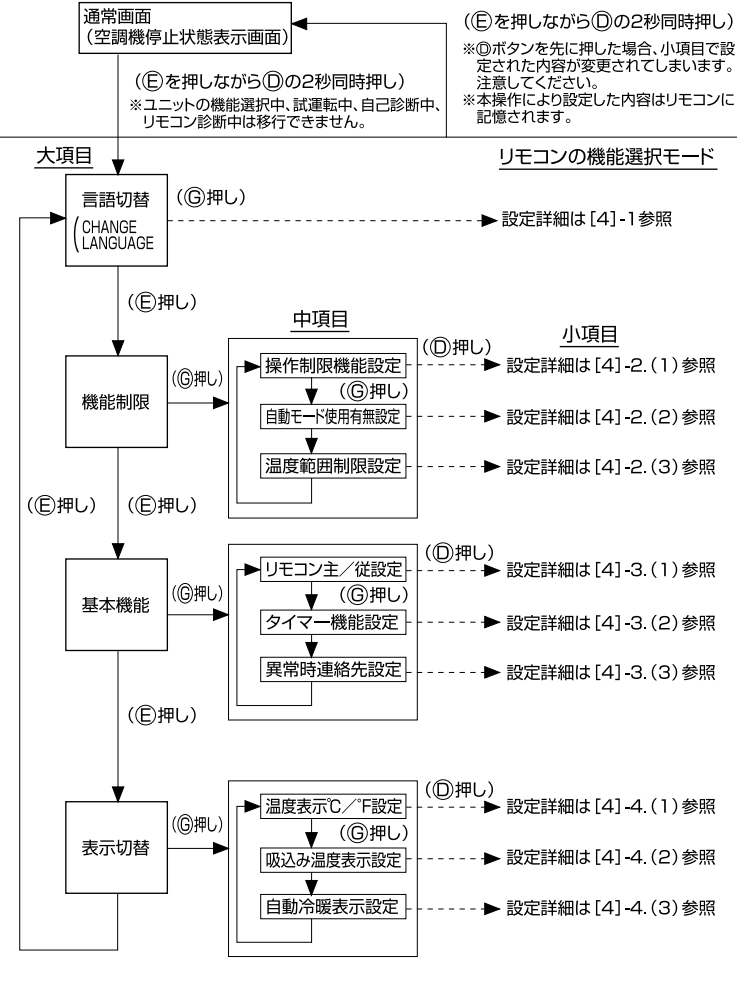



図1

お　知　ら　せ
リモコンの機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

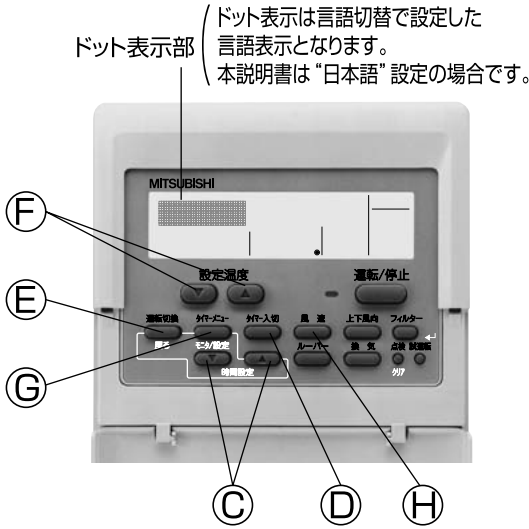



図2

次の頁へ続く

リモコンの機能選択のしかた

設定詳細

[4]-1.言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。
・ (タイマーメニュー) ボタンⒼを押して下記内容を切替えます。
①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、
④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)、
⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

[4]-2.機能制限設定

(1)操作制限機能設定(操作ロック)

(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①no1　　　　　　　:(運転/停止) ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2　　　　　　　:全ボタン操作ロックとなります。
③OFF(初期設定値):操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作((フィルター)ボタンと(運転/停止)ボタン同時2秒押し)が必要です。

(2)自動モード使用設定

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。
(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①ON(初期設定値):運転モード操作時に自動モードを表示します。
②OFF　　　　　　:運転モード操作時に自動モードを表示しません。

(3)温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。
(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①冷房モード　　　:冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②暖房モード　　　:暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
③自動モード　　　:自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
④OFF(初期設定値):温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。

・設定温度(▽)または(△)ボタンⒻを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。
(風　速) ボタンⒽを押して上限値設定、下限値設定の選択を切替えます。
選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。
・設定範囲

冷房・ドライモード	:	下限値	:	19℃〜30℃
		上限値	:	30℃〜19℃
暖房モード	:	下限値	:	17℃〜28℃
		上限値	:	28℃〜17℃
自動モード	:	下限値	:	19℃〜28℃
		上限値	:	28℃〜19℃

[4]-3.基本機能設定

(1)リモコン主/従設定

(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①主:主設定となります。
②従:従設定となります。

(2)タイマー機能設定

(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
(いずれか一つを選択)
①タイマーケシワスレ ボウシ:消し忘れ防止タイマー使用可能となります。
②タイマーカンイ(初期設定値 MAスムースリモコン時):簡易タイマー使用可能となります。
③タイマー無効　:タイマー未使用設定となります。

(3)異常時の連絡先設定

(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①CALL・OFF　:異常中に設定した電話番号は表示されません。
②CALL・0120 *** ****　:異常中に設定した電話番号を表示します。
③CALL・＿　:左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法
②設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。
点滅しているカーソル(＿)を移動して、数字を設定します。
設定温度(▽)または(△)ボタンⒻを押してカーソルを右または左に移動させます。
時間設定(▽)または(△)ボタンⒸを押して、番号を設定します。
最大12桁の数字が入力できます。

[4]-4.表示切替設定

(1)温度表示℃/°F設定

(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①℃:温度表示単位をセ氏表示にします。
②°F:温度表示単位を華氏表示にします。

(2)吸込み温度表示設定

(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①ON　:吸込み温度を表示します。
②OFF:吸込み温度は表示されません。

(3)自動冷暖表示設定

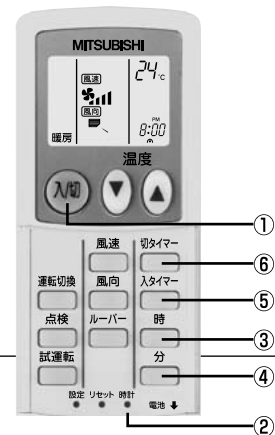
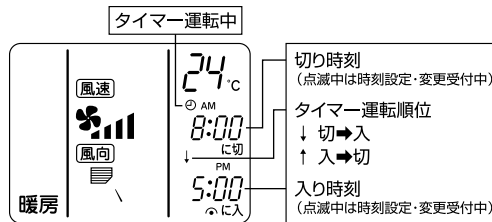
(タイマー入切) ボタンⒹを押して下記内容を切替えます。
①ON　:自動モード運転時、「自動冷暖」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
②OFF:自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合）

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから"ピッ"と音のすることを確認しながら行ってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。
- 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行う。
- 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行う。
- 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行う。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー時刻設定は、10分単位です。

タイマー運転中
風速
風向
暖房
24℃
AM 8:00 に切
PM 5:00 に入
切り時刻（点滅中は時刻設定・変更受付中）
タイマー運転順位
↓ 切➡入
↑ 入➡切
入り時刻（点滅中は時刻設定・変更受付中）

現在時刻の設定を行うとき

1 入/切 **ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 **時計ボタン②を押す。** 現在時刻が点滅します。

3 時 **ボタン③・** 分 **ボタン④を押し、現在時刻を合わせる。**（電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。）

4 **時計ボタン②をもう1回押す。** 現在時刻が点灯します。（現在時刻合わせの設定完了です。）
■設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順 **2** からやり直してください。

入りタイマー運転を行うとき

1 入/切 **ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 入タイマー **ボタン⑤を押す。** 現在時刻が消灯し、入り時刻と ◷ が点灯します。"に入"表示が点滅します。

3 時 **ボタン③・** 分 **ボタン④を押し、入り時刻を合わせる。**
- 入タイマー時刻設定後"に入"表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
- エアコンの運転は自動的に停止し、入り時刻 まで待ちます。

■設定中に"に入"表示が点滅から点灯に変わった時には 入タイマー ボタン⑤を押した後、手順 **2** からやり直してください。

切りタイマー運転を行うとき

1 入/切 **ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 切タイマー **ボタン⑥を押す。** 現在時刻が消灯し、切り時刻と ◷ が点灯します。"に切"表示が点滅します。

3 時 **ボタン③・** 分 **ボタン④を押し、切り時刻を合わせる。**
●切タイマー時刻設定後"に切"表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
■設定中に"に切"表示が点滅から点灯に変わった時には 切タイマー ボタン⑥を押した後、手順 **2** からやり直してください。

入⇄切タイマー運転を行うとき

1 **入タイマー・切タイマー両方の設定をする。**
- ↑↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
↑は、停止 ➡ 運転（入り時刻）➡ 停止（切り時刻）
↓は、運転 ➡ 停止（切り時刻）➡ 運転（入り時刻）を表します。

タイマー運転を解除するとき

入タイマー運転を解除するとき 入タイマー **ボタン⑤を押す。** ● 入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。

切タイマー運転を解除するとき 切タイマー **ボタン⑥を押す。** ● 切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。

入⇄切タイマー運転を解除するとき 入タイマー **ボタン⑤と** 切タイマー **ボタン⑥を押す。** ●入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。

タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき 入/切 **ボタン①を押す。** ●エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お　知　ら　せ
■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

ドライ運転とは

■ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。
■室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
■室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。
■ドライ運転動作内容

1. お好みの室温になるまで…
   室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると…
   圧縮機・室内ファンとも停止します。10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転について

■暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。
（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
■風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
■風が出ない：ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。
（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
■運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

換気連動運転とは

■室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

ミスタースリムの使用温度範囲

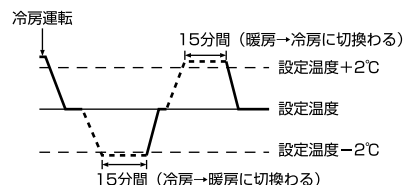
		室　内	室　外
冷房･ドライ	乾球温度	19℃～32℃	−5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	――
暖　　房	乾球温度	17℃～28℃	−11℃～21℃
	湿球温度	――	−12℃～15℃

※ 室外ユニットにより表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ･仕様書等でご確認ください。

霜取中とは

■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。
この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
■霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

自動運転とは

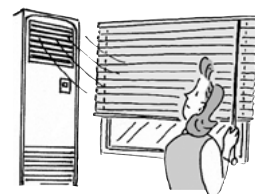
■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。

上手な使い方

上手な使い方ー“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

■冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
■冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
■たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

■冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
■出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

■長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
■特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

■フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
また、露付・露たれの原因にもなります。
■ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（20ページ）

中間期にはドライ運転を

■ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
■ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

■冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
■暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

ときどき換気を

■長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
■送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
■冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな？　A お答えします（故障ではありません）

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A
■フィルターの清掃をしてください。（フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです）
■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。
室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？
■窓やドアが開いていませんか？
■圧縮機の予熱中です。外気温度が−20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で4時間運転できない場合があります。（※PUZ-HRP80～160形の場合）

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房運転中表示が出る。

A
■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A
■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A
■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A
■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A
■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A
■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水が出る

A
■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコンの運転表示が点灯しない

A
■電源開閉器を入れてください。
表示部に“⊙”が表示されます。

Q リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。

A
■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A
■約3分間お待ちください。
（エアコンを保護するため、止まっています）

Q 故障かな？　A お答えします（故障ではありません）

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A
■入タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■停電自動復帰を設定していませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A
■切タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A
■タイマー設定が無効となっていませんか？
タイマー設定がセット可能なときは、簡易タイマー、消忘タイマー、週間タイマー のいずれかが表示されています。

Q リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。

A
■初期設定（約3分）を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A
■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A
■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3〜7dB	6〜10dB	9〜13dB

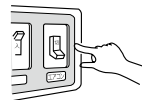
Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A
■乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、
乾電池の入れ方（＋、－）を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。

A
■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

お手入れのしかた

お手入れのまえに　■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。
■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

⚠注　意	必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

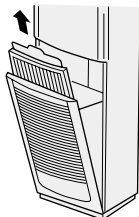
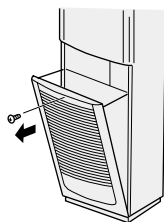
⚠注　意	フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。

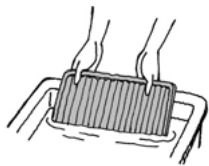
⚠注　意	フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

1 フィルターを取外す。

① 吸込グリル取手部のネジを外し、吸込グリルを矢印の方向に開いてください。

② 吸込グリルを開いてください。

③ フィルターの取手を持って、矢印の方向に引き上げて外してください。

2 フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。

4 フィルターを元の状態に取付ける。
（取外しの逆の手順）

フィルター清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅　させて清掃時期をお知らせします。（ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。）
■フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

運 転 時 間
2500時間

“フィルター清掃” 表示をリセットする

1 フィルター清掃後 (フィルター) ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

■必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。
表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます〈ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間〉。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
■運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

2 エアコンの電源を切る。

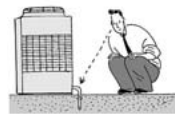
■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

再度使い始めるとき

■下記作業 **1** ～ **4** の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

1 フィルターを清掃して、取付ける。

2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
（電源を入れる場合は、必ず外気温度が−20℃より高い条件で実施ください。）

⚠注　意	アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

移設・工事について

移設・廃棄について

⚠警告	**据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。**
	●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。 ●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠注　意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。

■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

■車輌・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。

■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

⚠注　意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。
	●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に充分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

保証とアフターサービス

- **「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。**
- **お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（23ページ参照）へお問い合わせください。**
- **エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。**
- **この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。**
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

保　証　書

■室内ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”（18・19ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

項目	内容
1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。
通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。
（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
クランクケースヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

修理窓口 へ　　ご相談窓口 へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

北海道地区

道央地区
北海道冷熱サービスコールセンター
電話 (011) 862-1180　ファックス (011) 862-9497
札幌市白石区本通 20丁目南 4-2

旭　川 (0166) 25-1800　旭川市4条通 9-1703 (旭川北洋ビル6階)
帯　広 (0155) 24-1669　帯広市西3条 9-1 (帯広経済センタービル4階)
函　館 (0138) 51-8699　函館市五稜郭町 1−14 (住友生命五稜郭ビル6階)

東北地区

宮城県・山形県
東北冷熱サービスコールセンター
電話 (022) 224-1330　ファックス (022) 224-1343
仙台市青葉区花京院1-1-20（花京院スクエア）

青　森 (017) 722-7718　青森市長島 2-10-4 (ヤマウビル5階)
秋　田 (018) 836-7880　秋田市中通 2-3-8 (アトリオンビル8階)
八　戸 (0178) 45-7289　八戸市八日町 36 (第一ビル5階)
郡　山 (024) 922-8959　郡山市駅前2-11-1 (ビッグアイ内)
盛　岡 (019) 653-3732　盛岡市菜園 1-3-6 (農林会館6階)
いわき (0246) 24-2120　いわき市平字町田120 (LATOV内)

東関東 冷熱サービスコールセンター

千葉県・茨城県
電話 (047) 431-1194　ファックス (043) 224-3565
千葉市中央区富士見2-3-1（塚本大千葉ビル）

関越 冷熱サービスコールセンター

埼玉県・群馬県・栃木県・長野県・新潟県
電話 (048) 650-1194　ファックス (048) 650-1278
さいたま市大宮区仲町 1-110（大宮NSD）

東京 冷熱サービスコールセンター

東京都（町田市を除く）・山梨県
電話 (03) 3803-1194　ファックス (03) 3803-5290
東京都荒川区荒川 7-19-1（システムプラザB館）

横浜 冷熱サービスコールセンター

神奈川県・東京都町田市・静岡県東部（富士川以東）
電話 (045) 681-1194　ファックス (045) 311-8204
横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1（ランドマークタワー内）

中部 冷熱サービスコールセンター

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県西部（富士川以西）
電話 (052) 243-1194　ファックス (052) 243-1193
名古屋市中区栄 3-18-1（ナディアパークビジネスセンタービル）

北陸 冷熱サービスコールセンター

石川県・富山県・福井県
電話 (076) 224-1194　ファックス (076) 233-6205
金沢市広岡 3-1-1（金沢パークビル）

関西 冷熱サービスコールセンター

大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・兵庫県
電話 (06) 6391-8531　ファックス (06) 6391-8545
大阪市淀川区三国本町 1-3-4

中国・四国 冷熱サービスコールセンター

広島県・岡山県・鳥取県・島根県・山口県・香川県
愛媛県・高知県・徳島県
電話 (082) 291-1194　ファックス (082) 503-2417
広島市西区南観音 8-14-21（中国資材センター内）

九州地区

福岡県・佐賀県
九州冷熱サービスコールセンター
電話 (092) 471-1194　ファックス (092) 474-8298
福岡市博多区豊 1-9-71（九州資材センター内）

北九州 (093) 551-2937　北九州市小倉北区浅野3-8-1 (アジア太平洋インポートマート内)
熊　本 (096) 356-6231　熊本市花畑町 9-24 (住友生命熊本ビル2階)
久留米 (0942) 34-6730　久留米市日吉町 16-18 (久留米センタービル内)
大　分 (097) 537-7191　大分市中央町 1-1-5 (大分第一生命ビル3階)
長　崎 (095) 826-8301　長崎市万才町 3-5 (朝日生命長崎ビル7階)
宮　崎 (0985) 23-3883　宮崎市高千穂通 2-5-32 (日本生命宮崎駅前ビル9階)
佐世保 (0956) 24-7718　佐世保市松浦町2-21 (九十九島ビル内)
鹿児島 (099) 226-1912　鹿児島市東千石町 1-38 (鹿児島商工会議所ビル)
沖　縄 (098) 866-1175　那覇市久茂地 1-3-1 (久茂地セントラルビル)

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機システムサービス株式会社）

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）

インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。
携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター ファックス (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111 （有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター ファックス (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901 （有料）

ご相談窓口（三菱電機株式会社）

三菱電機空調ワンコールシステム

店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは

フリーコール **0120-9-24365**（無料）
空調　24時間365日

■技術相談　平　日　9：00〜19：00
　　　　　　土･日･祝　9：00〜17：00
■修理依頼　365日・24時間受付
■サービス部品注文　365日・24時間受付

三菱電機冷熱相談センター

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談は

フリーボイス **0037-80-2224**（無料）
<携帯電話・PHS・IP電話の場合> 073-427-2224（有料）
■電　話　平　日　9：00〜19：00
　　　　　土･日･祝　9：00〜17：00
■ファックス　365日･24時間受付　フリーボイス 0037-80-2229（無料）
　　　　　<IP電話の場合>　073-428-2229（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

仕　様

室内ユニット仕様表　ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

●PS-RP・GA7形

形名		50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形
騒音：強ー弱	dB	38ー33		42ー37			48ー42	49ー43
風量：強ー弱	m^3/min	16ー13		18ー15			30ー24	33ー26
外形寸法（高さ×巾×奥行）	mm	1900×600×270					1900×600×350	
質量	kg	41（43）		43（45）			51（53）	53（55）

形名		160形
騒音：強ー弱	dB	52ー46
風量：強ー弱	m^3/min	35ー27
外形寸法（高さ×巾×奥行）	mm	1900×600×350
質量	kg	53（55）

様式１ 冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

年　月　日～　年　月　日　管理番号

施設所有者				設備製造者				
施設名称		系統名		設置年月日				
施設所在地		電　話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電　話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者　会社名		責任者			用途	空調用	検知装置	
点検事業者　所在地		電　話		冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
使用冷媒	R410A　初期充填量(kg)	点検周期　基準	実績(月)					

作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。＊ JRA: 社団法人　日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14 について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ（室外機1台／室内機1台）での、冷媒配管長30mを想定した冷媒量を元にしています。
システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。（3135kg～16.1ton）

愛情点検

●長年ご使用のエアコンは点検を！

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名	電話（　　）　ー
お買上げ（据付）日	年　月　日

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

三菱電機株式会社
静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3ー18ー1

RG79D737H02